

「世界のいじめられっ子、日本」の今を知る

講演会のお知らせ

3月3日（土） 午後6：00～9：00
文京シビックセンター26階スカイホール

第1部／6：00～7：30

福地 惇氏

大正大学文学部教授

「新しい歴史教科書をつくる会」副会長

太平洋戦争史観について

日本はなぜいつまでも「普通の国」になれないのか？足枷となっている歴史観とは何か？
日本近現代史の重鎮が、失われた戦後60年の日本について哀惜の情とともに語ります。

第2部／7：30～9：00

水島 総氏

日本文化チャンネル桜代表

「南の島に雪が降る」の映画監督・脚本家

なぜ映画「南京の真実^{仮題}」 を作るのか？

今年は「南京陥落70周年」にあたり、中国、カナダ、アメリカで7本もの南京「虐殺」映画が製作、公開されます。このような歴史捏造プロパガンダ映画が世界中で公開され、南京大虐殺なる歴史の大嘘が「真実」として認識されるならば、日本民族はナチスと同様、世界中の非難の的となります。この結果、日本人は未来永劫「人類の敵」として扱われるでしょう。どうしたら、私たち日本民族に降りかかった冤罪を晴らすことが出来るのか、子供や孫たちの将来のためにも、南京の真実はどうだったのか、映像には映像で世界に向けて反論するために水島氏は立ち上がりました。

**講演・展示両会場にて、映画製作に協力する賛助金をお願いしています。
ご協力ください**

講演会昼の部（2：30～5：00）於：文京シビックセンター26階スカイホール

第1部：西村幸祐氏（ジャーナリスト）「反日マスコミとメディアリテラシー」

第2部：栗原宏文氏（メディアリテラシー研究会代表・元愛媛大学教授）

「メディアリテラシーで歴史洗脳を解く」

パネル展「この60年で失ったもの」を3月1日～4日迄、文京シビックセンター1階展示室1-Aにて開催しています。是非、ご覧ください。

主催／「美しい日本を考えるパネル展」実行委員会・連絡先：090-3273-7933 亀田・協賛／「新しい歴史教科書をつくる会」東京支部
後援／日本会議世田谷目黒支部・文京区の学校教育を考える会・日本の教育を考える豊島の会・練馬区の子供未来を考える会・北区の教育を考える会